

条例

社会福祉法人の助成に関する条例の制定

補助金の見直しの中で助成の根拠を示すことが求められ、手続きを定めた。

- ・現在該当の法人は
- ・志免町社会福祉協議会
- ・柚の木福祉会

全員賛成

公共下水道事業会計を企業会計方式とする条例の制定

特別会計から企業会計に移行する。事業経営の適正な経費負担区分により健全性と独立採算を目指す。

賛成多数(賛成13・反対2)

高齢者等集会所

「コミュニティの部屋」条例の制定

松ヶ丘町内会の高齢者の教養の向上と、福祉の増進及びコミュニティ活動を促進するために設置することに伴い、指定の期間、使用の許可、施設の維持管理費などが定められている。

全員賛成



終盤に入った下水道工事



活動がまたれるコミュニティの部屋

平成22年度 特別会計補正

- ・国民健康保険 460万円増 総額44億6,958万円 全員賛成
 - ・後期高齢者医療保険 ... 308万1,000円減 総額4億3,612万円
 - ・水道事業会計 339万円増 総額8億6,276万円 全員賛成
- 賛成多数(賛成14：反対1)
- 桜丘浄水場水道用地災害本普及工事

平成22年度一般会計補正予算(第5号)

2,550万円増の補正

圧倒的反対で否決

(賛成2：反対13)

[賛成] 池邊・熊本

[反対] 堤・大熊・助村・丸山・吉住・牛房・大西・西川・吉田・稲永・大林・二宮・末藤



農地耕作の有効利用を(吉原地区)

補正の主なものは

- ・財政調整基金積立金
- ・地理情報システム
- ・タンポポ保育園整備事業補助金
- ・私立幼稚園就園助成金
- ・農業振興費(特別旅費)など2,550万円増の補正予算が提案された。

予算特別委員会での審査で「吉原農区活性化整備基金繰入金」による先進地視察旅費、137万5,000円について指摘がなされた。

農業費として計上しているが、所管事務でない生活環境課が説明できるのか。吉原農区の活性化整備基金は、予算要求された場合、毎年支出するのか。基金の使用は慎重に対応すべき、実施計画書の不備、視察内容などに疑義が集中した。

採決の結果、賛成2反対13で一般会計補正予算第5号は否決となった。

反対討論

吉原農区活性化基金の活用として、研修旅費13名で137万円計上されている。目的は「治水改善」と「後継者育成」となっているが、この問題は昔から議論されている事であり、改善策や対策は当然研究されているはず。その点を検証するのが先決だ。前議会で毎年2千万円、10年で2億円の基金を可決したが使途に問題有り。

大西議員

吉原農区活性化整備基金の事業予算が二課にわたっており混乱している。所管の違う課で実施計画書の内容や書類の不備を指摘しないまま受理。旅費も議会旅費の二倍近い予算となっており、農業後継者育成となっているがその名簿も提出されていない。

末藤議員

再度詳細な実施計画書を提出すべきと指摘する。

丸山議員

処理場の土地賃貸借契約更新で、確約された吉原農地のための基金を今年度分2000万円を取り崩し、視察旅費に血税が使われることに納得できない。

昨年策定されたマスタープランでは吉原の農区の半分は流通・工業地に変更されている。今回の視察の目的に矛盾がある。

※賛成討論なし